

【管理運営状況公表様式】

令和2年度 青森県立郷土館の管理運営状況

県所管課	教育庁文化財保護課
指定管理者	TTHAグループ 代表 株式会社東奥日報社 代表取締役 塩越 隆雄
指定期間	平成30年4月1日～令和3年3月31日

1 管理業務の実施状況

業務区分	概要
施設、設備等の維持管理に関する業務	施設を清潔に保ち、利用者に安全で快適な環境を提供するため、施設内外の清掃や冬期間の除雪、各種設備等の運転及び保守に関する業務、警備業務を実施した。
施設の使用許可及び使用料の徴収等に関する業務	青森県立郷土館条例等の規定に則り、利用者からの使用料の徴収に関する業務を実施した。
郷土館の管理に関し必要な業務	施設の利用促進を図り、郷土館だよりや郷土館案内リーフレットの作成、展示会に関する広報などの業務、解説員による展示資料の解説に関する業務を実施した。

2 管理施設の利用状況

利用指標	年度	計画	実績	計画対比	前年度対比
入館者数（人）	H30	60,000	27,924	46.5%	119.9%
	R1	60,000	18,740	31.2%	67.1%
	R2	60,000	10,941	18.2%	58.4%
	平均	60,000	19,202	32.0%	
	H29(参考)	60,000	23,293	38.8%	70.9%

【増減理由】

令和2年度においては、新型コロナウイルス感染拡大の影響による臨時休館や、耐震診断の結果、耐震診断基準の目標値を下回る部分があることが判明したことによる臨時休館の影響により、結果として、目標に対して18.2%の入館者数に留まった。

### 3 評価結果

評価項目	指定管理者自己評価	県所管課	
		評価	コメント
①サービスの維持・向上に向けた取組みが適切に行われているか。	4	4	新型コロナウイルス感染症対策のため、展示室等の消毒作業の確認や、入口での検温、手指の消毒、ソーシャルディスタンスの確保等について、利用者の誘導等に係る研修を行った。
②利用促進に向けた取組みが適切に行われているか。	4	4	臨時休館中、解説員によるインスタグラムの更新頻度を増やし、PRを積極的に行ったほか、新たな取り組みとして、YouTubeを活用し、常設展示室の展示資料を紹介する動画配信を行うなど、多様な広報活動を展開した。
③施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	3	3	監理業務仕様書に則り、施設設備等の維持管理に関する業務を行っていたが、一部の環境測定について十分でない面があった。
④緊急時の対応・安全管理などの危機管理が適切に行われているか。	3	3	避難訓練やAED講習の実施など、施設利用者の安全確保対策に取り組んでいる。
⑤指定管理料が適正に執行されているか。	2	2	成果目標の達成には至らなかったが、省エネ対策として、白熱灯をLED電球に積極的に行うなど、経費節減に努めている。
⑥成果目標達成のための努力が行われ、成果が上がっているか。	3	3	臨時休館中はSNS等を活用するなど、郷土館の情報発信を積極的に行っており、成果目標達成のための努力は行われていた。 結果として目標の達成には至らなかったが、臨時休館の影響が大きく、やむを得ないものと認められる。
⑦その他法令等を遵守した管理運営が行われているか。	3	3	労働法令を遵守するとともに、職員に対する個人情報保護に関する研修の実施や個人情報の漏洩を防止するための体制を確立するなど、法令の遵守に努めている。
総合評価	3	3	臨時休館の影響により、利用指標である入館者数は当初の計画を下回る結果となったが、様々な広報活動の実施など成果目標達成のための努力は払われていた。 また、一部の環境測定について検査が未実施であったが、その他は計画どおり維持管理されており、総合的に業務水準書等の内容が満たされていると評価する。

○評価基準

- 5 (秀) : 業務水準書等の内容を上回り、特筆すべき実績をあげている。
- 4 (優) : 業務水準書等の内容を上回り、優れた実績をあげている。
- 3 (良) : 業務水準書等の内容が満たされている。
- 2 (可) : 業務水準書等の内容が満たされず、一部改善を要する。
- 1 (不可) : 業務水準書等の内容が満たされず、重大な改善を要する。